

ごあいさつ

株主の皆さまには、日頃より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症や気候変動問題、地政学リスクの顕在化などの社会・経済情勢の急激な変化に直面し、地域の人々の価値観・行動様式は大きく変化しています。

こうしたなか、当行グループは「地域の課題解決に貢献するなど、社会的価値を提供すること」こそが、企業グループとしての存在意義であると改めて思いを強くし、パーパス（存在意義）を「一人ひとりの思いを、もっと実現できる地域社会にする」、ビジョン（目指す姿）を「地域に寄り添う エンゲージメントバンクグループ」と決めました。

このパーパス・ビジョンのもと、当行グループは、お客さま・株主・職員をはじめとするあらゆるステークホルダーと思いをともにし、地域社会に寄り添った存在であり続けることで、地域社会を「ステークホルダーの思いが叶う場所」にしていまいります。

2023年4月よりスタートした第15次中期経営計画「エンゲージメントバンクグループ～フェーズ1～」では、パーパス・ビジョンに向けた最初の3年間として、「お客さま中心のビジネスモデルの進化」を取組指針としました。商品やサービス提供における視点を変え、お客さま一人ひとり、一社一社にとって最高の顧客体験を創り上げていくことで、お客さまとのさらなるエンゲージメント向上を実現し、地域とともに成長し続ける銀行グループを目指してまいります。

当行は2023年3月31日に創立80周年を迎えることができました。今日の私どもがあるのもひとえに、お客さま・株主・地域社会の皆さまの長年にわたる温かいご支援があってこそと、心より感謝申し上げます。

今後ともご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

株式会社千葉銀行
取締役頭取・グループCEO

米本 努



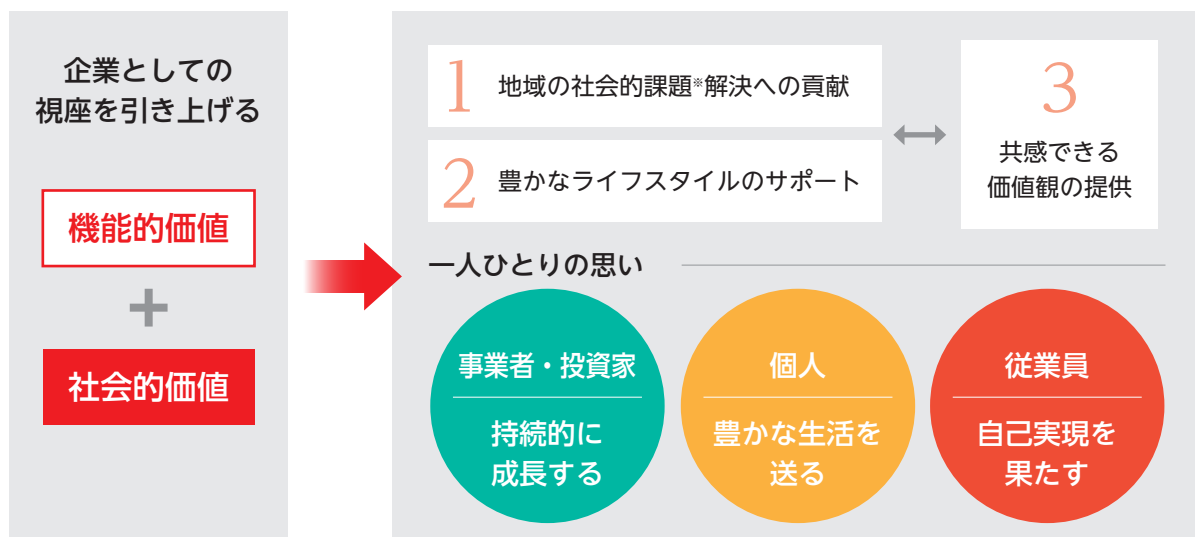
ちばぎんグループのパーパス・ビジョン

パーパス

一人ひとりの思いを、もっと実現できる地域社会にする

当行グループは、金融機能を提供するなどの「機能的価値」に加え、地域の課題解決に貢献するなどの「社会的価値」を創出するために存在。

変化する時代の中で、地域を「ステークホルダーの思いが叶う場所」へ。



*地域の社会的課題…コロナ、デジタル化、SDGs、地方創生など、地域社会の持続性に関連する諸課題

ビジョン

地域に寄り添う エンゲージメントバンクグループ

■ エンゲージメントバンクグループ

お客さま、従業員、株主などのステークホルダーとの深いつながりを背景とした価値提供をつうじ、地域とともに成長し続ける銀行グループ